



KVM コンソール

- [KVM コンソール \(1 ページ\)](#)
- [仮想 KVM コンソール \(2 ページ\)](#)
- [KVM ダイレクトアクセス \(5 ページ\)](#)
- [サーバからの KVM コンソールの起動 \(7 ページ\)](#)
- [サービス プロファイルからの KVM コンソールの起動 \(8 ページ\)](#)
- [\[Cisco UCS KVM Direct\] Web ページからの KVM コンソールの起動 \(9 ページ\)](#)
- [KVM Launch Manager からの KVM コンソールの起動 \(9 ページ\)](#)
- [KVM のフォルダ マッピング \(11 ページ\)](#)
- [KVM 証明書 \(11 ページ\)](#)

KVM コンソール

KVM コンソールは、Cisco UCS Manager GUI または KVM の直接接続をエミュレートする KVM Launch Manager からアクセスできるインターフェイスです。サーバに物理的に接続する必要がある KVM ドングルとは異なり、KVM コンソールを使用すると、ネットワーク上のリモートロケーションからサーバに接続できます。Cisco UCS Manager リリース 4.1 (1) 以降では、KVM コンソール GUI は HTML5 ベースのアプリケーションとしてのみ使用できます。Java ベースのアプリケーションとしては使用できなくなりました。

KVM コンソールを使用してサーバにアクセスする場合は、サーバまたはサーバに関連付けられているサービス プロファイルのいずれかに CIMC IP アドレスが設定されていることを確認する必要があります。KVM コンソールは、サーバまたはサービス プロファイルに割り当てられた CIMC IP アドレスを使用して、Cisco UCS ドメイン内の正しいサーバを識別し、そのサーバに接続します。

CD、DVD、またはフロッピー ドライブを使用してサーバに直接接続する代わりに、KVM コンソールでは仮想メディアを使用します。仮想メディアは、仮想 CD、DVD、またはフロッピー ドライブにマップされた実際のディスク ドライブまたはディスク イメージファイルです。次に示す任意の仮想ドライブをマップできます。

- お使いのコンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージファイル

- ネットワーク上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- ネットワーク上のディスク イメージ ファイル



(注) 物理サーバから KVM コンソールを起動すると、そのサーバがサービス プロファイルに関連付けられているか否かがチェックされます。関連付けられている管理 IP アドレスによってサーバがサービス プロファイルに関連付けられている場合は、その管理 IP アドレスを使用して KVM コンソールが起動されます。管理 IP アドレスがサービス プロファイルで関連付けられていない場合は、物理サーバを使用して KVM コンソールが起動されます。

サーバ OS のインストールに KVM コンソールを使用する場合の推奨事項

仮想 CD/DVD またはフロッピー ドライブから OS をインストールするには、その仮想 CD/DVD またはフロッピー ドライブがサービス プロファイルで最初のブート デバイスとして設定されている必要があります。

KVM コンソールを使用した OS のインストールは、KVM ドングルを使用する場合よりも時間がかかることがあります。これは、ネットワークを介してインストール ファイルをサーバにダウンロードする必要があるためです。ディスク ドライブまたはディスク イメージ ファイルをネットワーク共有から仮想ドライブにマップする場合は、インストールにさらに時間がかかることがあります。これは、インストール ファイルをネットワークから KVM コンソール（お使いのコンピュータ）にダウンロードした後、KVM コンソールからサーバにダウンロードする必要があるからです。このインストール方式を使用する場合は、KVM コンソールを搭載したシステムのできる限り近くにインストール メディアを配置することを推奨します。

仮想 KVM コンソール

KVM コンソールは Cisco IMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス（KVM）の直接接続をエミュレートします。コンソール上では、遠隔地のサーバを制御し、KVM セッション中にアクセスできる仮想ドライブに物理ロケーションをマッピングできます。

HTML5 KVM は、Cisco UCS Manager リリース 3.1(3) が稼働する M3 以降のサーバのみを対象としています。HTML5 KVM の Web ブラウザの最小要件は、Chrome 45、Firefox 45、IE 11、Opera 35、および Safari 9 です。最良の結果を得るため、最新バージョンのブラウザを使用してください。単一のブラウザでサポートされる同時セッションの数は、ブラウザの設定とメモリ使用量によって異なります。

[KVM Console] タブ

このタブは、サーバへのコマンドラインアクセスを提供します。このタブで使用可能なメニュー オプションは以下のとおりです。

[Server Actions] メニュー

システムで実行するリモート サーバ操作を選択します。

メニュー項目	説明
Boot Server	仮想コンソールセッションからシステムの電源をオンにします。
Shutdown Server	仮想コンソールセッションからシステムの電源をオフにします。
Reset	仮想コンソールセッションからシステムをリセットします。

[ファイル (File)] メニュー

メニュー項目	説明
[ファイルにキャプチャ (Capture to File)] ボタン	JPG イメージとして現在の画面を保存できる [保存 (Save)] ダイアログボックスが開きます。 (注) このオプションは、[KVM] タブ上でのみ利用できます。
[終了 (Exit)] ボタン	KVM コンソールを閉じます。

[View] メニュー

メニュー項目	説明
[更新 (Refresh)]	サーバの現在のビデオ出力を使用してコンソール表示を更新します。
Full Screen	画面全体になるように KVM コンソールを拡大します。

[Macros] メニュー

リモートシステムで実行するキーボードショートカットを選択します。

メニュー項目	説明
[静的マクロ (Static Macros)] メニュー	マクロの定義済みのセットを表示します。
[ユーザ定義マクロ (User Defined Macros)] メニュー	作成済みのユーザ定義マクロを表示します。
[Server Defined Macros] メ ニュー	作成済みのサーバ定義マクロを表示します。

メニュー項目	説明
[Manage] ボタン	マクロの作成および管理ができる [Configure User Defined Macros] ダイアログ ボックスを開きます。システム定義されたマクロは削除できません。

[Tools] メニュー

メニュー項目	説明
[Session Options]	以下の項目が指定できる [Session Settings] ダイアログを開きます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Scaling] では、KVM 画面の表示縦横比を選択できます。 • これにより、ターゲットシステムで使用するマウスアクセラレーションが定義されます。デフォルトは [Absolute Positioning] です。
[セッション ユーザ リスト (Session User List)]	アクティブ KVM セッションを持つすべてのユーザ ID を表示する [セッションユーザリスト (Session User List)] ダイアログ ボックスを開きます。
[Chat]	現在の KVM セッションにログインしているすべての管理者に対してグループ チャット ウィンドウを開きます。
[Virtual Keyboard]	現在の KVM セッションの画面キーボードを開きます。
[Playback Controls]	Java KVM が作成したを選択するためのダイアログボックスが開きます。

[Virtual Media] メニュー

名前	説明
Activate Virtual Devices	vMedia セッションをアクティブにし、ユーザがローカル コンピュータまたはネットワークから、ドライブまたはイメージ ファイルをアタッチできるようにします。 <p>(注) セキュアでない接続を許可していない場合は、セッションを受け入れるためのプロンプトが表示されます。セッションを拒否すると、その仮想メディアセッションは終了します。</p>

名前	説明
[CD/DVD]	<p>ユーザがアクセスする CD/DVD を選択し、[Map Drive] ボタンをクリックしてそれをホスト サーバのデバイスにマップします。</p> <p>(注) [Read Only] チェックボックスがオンの場合、デバイスに書き込み機能があってもサーバはその vMedia デバイスに書き込むことができません。</p>
[Removable Disk]	<p>ユーザがアクセスするリムーバブル ディスクを選択し、[Map Drive] ボタンをクリックしてそれをホスト サーバのデバイスにマップします。</p> <p>(注) [Read Only] チェックボックスがオンの場合、デバイスに書き込み機能があってもサーバはその vMedia デバイスに書き込むことができません。</p>
[Floppy Disk]	<p>ユーザがアクセスするフロッピーを選択し、[Map Drive] ボタンをクリックしてそれをホスト サーバのデバイスにマップします。</p> <p>(注) [Read Only] チェックボックスがオンの場合、デバイスに書き込み機能があってもサーバはその vMedia デバイスに書き込むことができません。</p>

[Online Help] メニュー

名前	説明
[Contents and Index]	オンライン ヘルプを開きます。
[About KVM Viewer]	HTML5 KVM Viewer のビルドバージョン情報を表示します。

KVM ダイレクト アクセス

KVM ダイレクト アクセスにより、ユーザの Cisco UCS Manager ドメイン内のブレードおよびラックサーバを管理する管理者は、Web ブラウザを使用してサーバの KVM に直接アクセスすることができます。この機能により、管理者に彼らが管理するサーバの KVM コンソールへの

アクセスを許可する一方で、ファブリック インターコネクトの IP アドレスへのアクセスを制限することができます。

Cisco UCS Manager リリース 4.0 までは、アウトオブバンド IPv4 管理インターフェイス アドレスのみが KVM ダイレクト アクセス用にサポートされていました。Cisco UCS Manager リリース 4.0 は、インバンド IPv4 または IPv6 管理インターフェイス アドレスについても、KVM ダイレクト アクセスのサポートを導入しています。



(注) KVM ダイレクト アクセスは、Cisco UCS M5 サーバでのみサポートされます。

アウトバンドでの KVM ダイレクト アクセスでは、Cisco UCS Manager GUI インターフェイスや KVM Launch Manager を使用せずに、ユーザがサーバ管理 IP アドレスに移動できるようにするためのカスタム アプリケーションもサポートされます。

KVM ダイレクト アクセスは、サーバに直接割り当てられた管理 IP アドレス、またはサーバの管理者がサービスプロファイルでサーバに関連付けた管理 IP アドレスを指定することでサポートされます。サーバ管理者は、割り当てられたインバンドまたはアウトバンド IP アドレスをブラウザに入力し、[Cisco UCS KVM Direct] ログインページに移動します。ログインページでは、ユーザがユーザ名とパスワードを入力します。アウトバンドアドレスの場合は、認証ドメインを選択することもできます。Cisco UCS KVM ダイレクトが起動すると、Cisco UCS Manager GUI からサーバにアクセスする場合と同じように、サーバ用のコンソールが表示されます。

[Launch] ボタンの横で、このサーバに関連付けられている使用可能なアウトバンドアドレスおよびインバンドアドレスのリストを選択できます。Cisco UCS Manager リリース 4.1 (1) 以降では、KVM コンソール GUI は HTML5 ベースのアプリケーションとしてのみ使用できます。Java ベースのアプリケーションとしては使用できなくなりました。

インバンドの KVM ダイレクト アクセスは、認証に自己署名証明書を使用します。ユーザがサーバの管理 IP アドレスまたはサービス プロファイルの IP アドレスに初めてアクセスしたときに、警告ダイアログボックスが表示され、ブラウザのキャッシュに証明書の例外を追加する必要があることが告げられます。

Cisco UCS KVM ダイレクト アクセスをサポートするデフォルトの通信サービスは HTTPS です。これは無効化できません。ユーザがアドレスの一部として HTTP を使用してブラウザで管理 IP を入力すると、HTTPS サービスに自動的にリダイレクトされます。

KVM ダイレクト アクセスに対応するには、Cisco UCS Manager で CIMC Web サービス（通信サービス）が有効になっていることを確認してください。



(注) Cisco UCS Manager では、CIMC Web サービスがデフォルトで有効化されます。

KVM 直接ユーザ

Cisco UCS Manager 適切な権限を持つユーザは、インバンド経由で直接 KVM でシャーシの任意のブレードサーバにログインできます。ブレードサーバに固有のログイン クレデンシャル

を使用するには、そのブレードサーバに関連付けられている IPMI プロファイルに基づくログイン権限を使用できます。これらのログイン権限は次のとおりです。

- 読み取り専用：ユーザはホストのキーボード入力またはマウス入力、vMedia、電源制御、マクロにアクセスできません。
- 管理者：ユーザにはすべての権限が与えられます。

サーバからの KVM コンソールの起動

サーバに割り当てられたアドレスを使用して複数の KVM コンソールセッションを起動できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。

ステップ 3 KVM コンソール を通じてアクセスするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域を下にスクロールし、[KVM Console] の右にある [>>] ボタンをクリックします。

KVM コンソール が別のウィンドウで開き、サーバに関連付けられている使用可能なアウトバンドとインバンドのアドレスのリストが表示されます。

(注) [>>] ボタンではなく [KVM Console] をクリックすると、セッションは、最初がインバンド IPv6、2 番目がインバンド IPv4、3 番目がアウトオブバンド IPv4 の優先順序でサーバアドレスを使用して自動的に起動します。

ステップ 6 [Select IP Address] リストからアドレスを選択します。

[(Inband)] と表示されるアドレスは、アップリンク ポート経由でサーバにアクセスし、[(Outband)] と表示されるアドレスは、管理インターフェイスのポート経由でサーバにアクセスします。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

KVM コンソールは、選択したアドレスを使用して起動します。

ヒント キーボードの **Caps Lock** キーがオンになっている状態で KVM セッションを開き、その後に **Caps Lock** キーをオフにすると、KVM コンソールは Caps Lock キーがオンのときのように動作する場合があります。KVM コンソールとキーボードを同期させるには、KVM コンソールにフォーカスがない状態で **Caps Lock** キーを 1 度押し、次に KVM コンソールにフォーカスを置いて **Caps Lock** キーをもう一度押します。

ステップ 8 同じサーバの別の KVM セッションを開始するには、ステップ 5 ～ 7 を繰り返します。

別の KVM セッションが開始されます。設定されているアドレスの数に応じて、サーバに対して最大 6 つのセッションを開始できます。

サービス プロファイルからの KVM コンソールの起動

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。

ステップ 2 [Servers] > [Service Profiles] の順に展開します。

ステップ 3 KVM コンソールを起動するサービス プロファイルを含む組織のノードを展開します。

システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

ステップ 4 関連付けられているサーバへの KVM のアクセスが必要なサービス プロファイルを選択します。

ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域を下にスクロールし、[KVM Console] の右にある [>>] ボタンをクリックします。

KVM コンソールが別のウィンドウで開き、サーバに関連付けられている使用可能なアウトオブバンドとインバンドのアドレスのリストが表示されます。

(注) [>>] ボタンではなく **[KVM Console]** をクリックすると、セッションは、最初がインバンド IPv6、2 番目がインバンド IPv4、3 番目がアウトバンド IPv4 の優先順序でサーバアドレスを使用して自動的に起動します。

ステップ 7 [Select IP Address] リストからアドレスを選択します。

[(Inband)] と表示されるアドレスは、アップリンク ポート経由でサーバにアクセスし、[(Outband)] と表示されるアドレスは、管理インターフェイスのポート経由でサーバにアクセスします。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

KVM コンソールは、選択したアドレスを使用して起動します。

ヒント キーボードの **Caps Lock** キーがオンになっている状態で KVM セッションを開き、その後に **Caps Lock** キーをオフにすると、**KVM コンソール**は Caps Lock キーがオンのときのように動作する場合があります。KVM コンソールとキーボードを同期させるには、**KVM コンソール**にフォーカスがない状態で **Caps Lock** キーを 1 度押し、次に **KVM コンソール**にフォーカスを置いて **Caps Lock** キーをもう一度押します。

ステップ 9 同じサーバの別のセッションを開始するには、ステップ 6 ～ 8 を繰り返します。

別の KVM セッションが開始されます。設定されているアドレスの数に応じて、サーバに対して最大 6 つのセッションを開始できます。

[Cisco UCS KVM Direct] Web ページからの KVM コンソールの起動

Cisco UCS KVM ダイレクト ログイン ページでは、Cisco UCS Manager にログインせずに Web ブラウザからサーバに直接アクセスできます。

始める前に

[Cisco UCS KVM Direct] ログイン ページを使用してサーバの KVM コンソールにアクセスするには、次の情報が必要です。

- Cisco UCS のユーザ名とパスワード。
- アクセスするサーバに関するサーバ CIMC またはサービス プロファイルの IPv4 アウトバンドまたは IPv4/IPv6 インバンド管理アドレス。

手順

- ステップ 1** Web ブラウザで、アクセスするサーバの管理 IP アドレスの Web リンクを入力または選択します。
- ステップ 2** [Security Alert] ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックしてセキュリティ例外を作成します。
セキュリティ例外はブラウザのキャッシュに永続的に保存されます。
- ステップ 3** Cisco UCS [KVM Direct] ダイアログボックスで、名前、パスワード、およびドメインを指定します。
- ステップ 4** [Launch KVM] ボタンをクリックして HTML5 KVM を開始します。[Launch] ボタンの横で、このサーバに関連付けられている使用可能なアウトバンドアドレスおよびインバンドアドレスのリストを選択できます。

KVM Launch Manager からの KVM コンソールの起動

KVM Launch Manager からサーバの KVM コンソールにアクセスするには、次の情報が必要です。

- Cisco UCS ユーザ名とパスワード

- アクセスする KVM のサーバに関連付けられたサーバプロファイル名。

KVM Launch Manager では、Cisco UCS Manager にログインせずに KVM コンソールからサーバにアクセスできます。

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、Cisco UCS Manager GUI への Web リンクを入力または選択します。

例：

HTTP アクセスのデフォルトの Web リンクは、IPv4 アドレスの場合は `http://UCSManager_IP`、IPv6 アドレスの場合は `http://UCSManager_IP6` です。HTTPS アクセスのデフォルトの Web リンクは、IPv4 アドレスの場合は `https://UCSManager_IP`、IPv6 アドレスの場合は `https://UCSManager_IP6` です。スタンドアロン設定では、`UCSManager_IP` または `UCSManager_IP6` はそれぞれ、ファブリックインターコネクトの管理ポートの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスです。クラスタ設定では、`UCSManager_IP` または `UCSManager_IP6` はそれぞれ、Cisco UCS Manager に割り当てられた IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスです。

ステップ 2 Cisco UCS Manager の起動ページで、**[Launch KVM Manager]** をクリックします。

ステップ 3 [Security Alert] ダイアログボックスが表示された場合は、[Yes] をクリックしてセキュリティ証明書を受け入れ、続行します。

ステップ 4 [UCS - KVM Launch Manager Login] ページで、次の手順を実行します。

- a) Cisco UCS のユーザ名およびパスワードを入力します。
- b) (任意) Cisco UCS の実装に複数のドメインが含まれる場合、**[Domain]** ドロップダウンリストから適切なドメインを選択します。
- c) **[OK]** をクリックします。

ステップ 5 KVM Launch Manager の [Service Profiles] テーブルで、次の手順を実行します。

- a) サービス プロファイルと、KVM アクセスが必要な関連するサーバを含む行を探します。
- b) そのサーバの [Launch KVM] 列の [Launch] をクリックします。[Launch] ボタンの横で、このサーバに関連付けられている使用可能なアウトバンドアドレスおよびインバンドアドレスのリストを選択できます。

別ウィンドウに KVM コンソールが表示されます。

ヒント キーボードの **Caps Lock** キーがオンになっている状態で KVM セッションを開き、その後に **Caps Lock** キーをオフにすると、**KVM コンソール** は Caps Lock キーがオンのときのように動作する場合があります。KVM コンソールとキーボードを同期させるには、**KVM コンソール** にフォーカスがない状態で **Caps Lock** キーを 1 度押し、次に **KVM コンソール** にフォーカスを置いて **Caps Lock** キーをもう一度押します。

KVM のフォルダ マッピング

KVM のフォルダ マッピングは、UCS Manager 3.2(1) でサポートされています。フォルダ マッピングは、リモート システムの更新のために HTML5 KVM インターフェイスを使用して、KVM コンソールへの外部ファイルアクセスを提供します。この機能は、Google Chrome バージョン 57 以降を実行しているシステムを搭載した B シリーズ サーバと C シリーズ サーバで使用できます。

手順

- ステップ 1 KVM コンソールを起動します。
- ステップ 2 [Create Image] ボタンをクリックします。
- ステップ 3 任意のファイルをドラッグし、[Create Image] ダイアログボックスにドロップします。
- ステップ 4 [Download ISO Image File] をクリックして ISO イメージを作成します。HTML5 KVM インターフェイスを通じて使用できるのは ISO イメージのみです。
- ステップ 5 [Virtual Media] ボタンをクリックし、[Activate Virtual Devices] を選択します。仮想デバイスがロードされるまで数秒間待機します。
- ステップ 6 [Virtual Media] ボタンをクリックし、[CD/DVD] を選択します。
- ステップ 7 新しい ISO ファイルまたはフォルダをドラッグして [Virtual Disk Management] ダイアログボックスにドロップし、[Map Drive] をクリックします。読み取り専用アクセス用に、この KVM セッションに新しいファイルがマップされました。

KVM 証明書

KVM 証明書の変更

この手順を使用して、KVM 証明書をユーザ生成のパブリック証明書に変更できます。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ 3 KVM 証明書を変更するサーバをクリックします。
- ステップ 4 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。
- ステップ 5 [CIMC] サブタブをクリックします。
- ステップ 6 [Actions] 領域で、[Change KVM Certificate] をクリックします。

ステップ 7 [Change KVM Certificate] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Certificate] フィールド	ユーザ生成公開証明書。
[Key] フィールド	対応するユーザ生成秘密キー。 (注) パスワード保護された X.509 証明書の秘密キーはサポートされていません。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ステップ 9 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

この操作により、CIMC がリブートします。

KVM 証明書のクリア

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。

ステップ 3 KVM 証明書をクリアするサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [Inventory] タブをクリックします。

ステップ 5 [CIMC] サブタブをクリックします。

ステップ 6 [Actions] 領域で、[Clear KVM Certificate] をクリックします。

ステップ 7 [Clear KVM Certificate] ダイアログボックスで、[Yes] をクリックします。

この操作により、CIMC がリブートします。